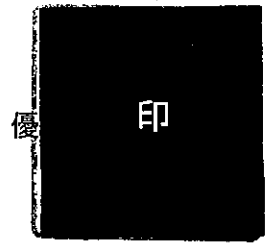


近畿厚生局長 殿

福井大学長
福田 優



福井大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3の規定に基づき、平成21年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	102人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照(様式第13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	161人	159人	320.0人	看護補助者	42人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	4人	6人	10.0人	理学療法士	10人	臨床検査技師	30人
薬剤師	30人	2人	32.0人	作業療法士	4人	臨床衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	3人	その他	0人
助産師	7人	1人	7.8人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧	0人
看護師	458人	63人	504.1人	臨床工学技士	6人	医療社会事業従事者	2人
准看護師	0人	0人	0.0人	栄養士	1人	その他の技術員	7人
歯科衛生士	1人	0人	1.0人	歯科技工士	1人	事務職員	196人
管理栄養士	5人	2人	6.7人	診療放射線技師	26人	その他の職員	43人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	481.5人	2.7人	484.2人
1日当たり平均外来患者数	1,125.7人	31.8人	1,157.5人
1日当たり平均調剤数	入院: 564.0 剤	外来: 97.3 剤	

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者数延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。



(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るものに限る。)	6人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	3人
超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。)のうち、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。)に係るものに限る。)	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	26人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	代表的抗白血病剤シタラビンの腫瘍細胞内薬理に基づく治療薬物モニタリング	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 急性白血病患者の寛解導入療法に際して、最重要薬剤であるシタラビン投与時に白血病がん細胞の中のシタラビン活性体の濃度を測定し、治療効果をモニターすることにより治療の最適化を試みる。			
医療技術名	テーラーメイド化に向けた血液がん薬物療法におけるkey drugの網羅的TDM	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 悪性リンパ腫患者において標準治療であるCHOP療法施行時にC.H.O.P(エンドキサン、アドリアシン、オンコビン、プレドニン)の血中濃度を網羅的に測定することで治療の個別化を試みる。			
医療技術名	大脳皮質基底核変性症の治療法の開発	取扱患者数	9人
当該医療技術の概要 大脳皮質基底核変性症に対し、CDP-cholineの経静脈投与を行い、治療効果を臨床的および機能画像的に判定する。			
医療技術名	橋本脳症の免疫診断システムの構築	取扱患者数	266人
当該医療技術の概要 全国より橋本脳症の血清診断マーカーである抗NAE抗体の解析依頼があった。			
医療技術名	血中ドパミン濃度のモニタリングによるパーキンソン病治療の高度化	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要 血中ドパミン濃度を測定することでパーキンソン病の各患者に合った治療を行える。			
医療技術名	ミトコンドリア病のDNA診断	取扱患者数	11人
当該医療技術の概要 ミトコンドリア病(MELAS症候群)のPCRによる遺伝子診断			
医療技術名	神経変性疾患のDNA診断(脊髄小脳変性症)	取扱患者数	13人
当該医療技術の概要 脊髄小脳変性症(4種予定)の遺伝子変異を解析 延べ13人×4種=52解析			
医療技術名	遺伝子多型解析	取扱患者数	23人
当該医療技術の概要 「動脈硬化進行防止のための慢性腎臓病介入療法に関する遺伝的体質に基づいた個別化診療の創出」のため、遺伝薬理学的手法としてレニン-アンジオテンシン系遺伝子多型を解析する。			
医療技術名	仮想気管支ナビゲーションシステム	取扱患者数	18人
当該医療技術の概要 気管支内視鏡検査において、仮想気管支ナビゲーションシステムを使用し、肺末梢小型病変に正確にアプローチする技術			
医療技術名	インターロイキン12ファミリーの血清レベル測定	取扱患者数	52人
当該医療技術の概要 慢性心不全患者において、インターロイキン12ファミリーの測定を行っている。心不全の病勢や各種予後規定因子との関連を精査し、薬物治療での変動の有無につき検討を行っている。			

医療技術名	アディポサイトカインをターゲットとしたメタボリックシンドロームに対するテーラーメイド治療の確立	取扱患者数	40人
当該医療技術の概要 メタボリックシンドローム患者のアディポサイトカイン不均衡をチェックし、その状態に応じた薬理的な介入を行う。			
医療技術名	ATP負荷アンモニアPETを用いた急性心筋梗塞患者における微小循環障害の評価と梗塞後心に対する治療高度化についての研究	取扱患者数	39人
当該医療技術の概要 急性心筋梗塞患者において、ATP負荷アンモニアPETによって得られる心筋血流予備能を微小循環障害の指標として、早期スタチン療法の心筋微小循環と慢性期心機能に対する効果を検討している。			
医療技術名	重症下肢虚血疾患における血管内皮前駆細胞モニタリングの有用性	取扱患者数	58人
当該医療技術の概要 重症下肢虚血患者における血管内皮前駆細胞の測定を行い、病変形態との関連、予後の推測に有用であるかを検討している。			
医療技術名	癌腹膜転移に対する化学温熱腹膜灌流療法 (CHPP) の開発研究	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 大腸癌、虫垂癌、卵巣癌などの腹膜転移、腹膜中皮腫などに対し、腹腔内を高温の抗癌剤を含む灌流液で温熱灌流する温熱化学療法である。			
医療技術名	胃癌腹膜播種治療におけるタキサン系抗癌剤の腹腔内投与法の確立	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 臨床研究として、胃癌腹膜播種及び腹腔細胞診陽性症例に対して腹腔ポートを用いたタキソール及びタキソテールの腹腔内投与を行っている。全身化学療法に加えて行うことで、治療成績の向上や安全性の確認、治療効果判定の確立を検討している。			
医療技術名	[18F]-fluoro-esutradiol-PET検査による乳癌に対する内分泌治療の効果予測	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 転移性乳癌における内分泌治療の適応は、原発腫瘍の免疫染色検査でホルモン受容体発現が1%以上とされ、そのclinical benefitは約60%と低率である。FES ([F-18]Fluoroestradiol)-PET検査は、放射性同位元素を結合させたエストラジオールを転移性乳癌患者に投与することにより、組織検査をせずに転移巣のエストロゲン受容体発現を同定できる有用性があり、内分泌治療効果をほぼ100%正確に予測できることが期待できる。			
医療技術名	PETを用いた圧迫性頸髄症に対する脊髄グルコース代謝量の定量的評価と臨床応用	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 PET imagingの臨床応用として、頸髄部の変化を確認し、圧迫病変の評価を行う。			
医療技術名	股関節部骨切り手術におけるナビゲーションシステムの使用	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 骨切り手術にナビゲーションを用いることで、安全、正確な手術が可能となる。			
医療技術名	子宮頸部前ガン病変のHPV-DNA診断	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 子宮頸部前ガン病変患者にDNA-PCR法を用いてDNAの型判定を実施			
医療技術名	子宮頸癌におけるセンチネルリンパ節の固定と転移の検索	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 子宮頸癌のセンチネルリンパ節固定のためにパテントブルーと99mTmを投与し、固定法の確立に向けた臨床テストを実施している。			

医療技術名	不妊女性における子宮筋腫摘出の診断基準確立を目指して-Cine MRIを用いた研究	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要			
不妊患者の筋腫核出前にシネMRIを実施して、予後予測に有用か検討している。			
医療技術名	インドシアニングリーンビデオ脳血管撮影法	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要			
手術中に病変が露出された段階で、麻酔科医に一回当たり10mgのICGの静脈注射を行ってもらいコントロール検査を行う。静脈注射後数十秒で血管が描出され、手術顕微鏡に装着した近赤外線検出装置で観察することで病変および健常血管の流れを確認する。撮影に要する時間は10分程度であるが、一回の撮像後、薬剤の体内からの洗い出しに約15分かかるため、繰り返し検査を行う場合は15分程度間隔を空ける必要がある。病変の処置の途中、および処置が終わった段階で、二回目ないし三回目の検査を行う。血管の状態に応じて剥離部位、血管の閉塞部位、血管の吻合状態確認し、捜査を変更することにより、病変を完全処置し周囲血管を温存して手術を終了する。			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	17人	・膿疱性乾癬	2人
・多発性硬化症	23人	・広範脊柱管狭窄症	8人
・重症筋無力症	17人	・原発性胆汁性肝硬変	6人
・全身性エリテマトーデス	40人	・重症急性膵炎	2人
・スモン	1人	・特発性大腿骨頭壊死症	28人
・再生不良性貧血	15人	・混合性結合組織病	19人
・サルコイドーシス	36人	・原発性免疫不全症候群	2人
・筋萎縮性側索硬化症	9人	・特発性間質性肺炎	14人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	41人	・網膜色素変性症	20人
・特発性血小板減少性紫斑病	21人	・プリオン病	1人
・結節性動脈周囲炎	8人	・肺動脈性肺高血圧症	1人
・潰瘍性大腸炎	31人	・神経線維腫症	5人
・大動脈炎症候群	10人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	7人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・天疱瘡	9人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	1人
・脊髄小脳変性症	16人	・ライゾゾーム病	5人
・クローン病	20人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	3人	・脊髄性筋委縮症	0人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	64人	・球脊髄性筋委縮症	2人
・アミロイドーシス	6人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	3人
・後縦靭帯骨化症	56人	・肥大型心筋症	1人
・ハンチントン病	1人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	16人	・ミトコンドリア病	6人
・ウェゲナー肉芽腫症	1人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	1人
・特発性拡張型(うつ血型)心筋症	14人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	12人	・黄色靭帯骨化症	1人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	14人

(注)「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・培養細胞による先天性代謝異常診断(胎児又は新生児に係るものに限る。)	・
・眼底三次元画像解析(黄斑円孔、黄斑前膜、加齢黄斑変性、糖尿病黄斑症、網膜剥離又は緑内障に係るものに限る。)	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	<p>① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。</p> <p>2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。</p>
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	<p>病理診断部門:年40~45回程度</p> <p>臨床検査部門:年40回程度</p>
部 検 の 状 況	<p>部検症例数 45 例 / 部検率 16.73%</p>

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

(単位:千円)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
マルチ薬剤耐性による難治性白血病へのゲノム薬理学に基づくテーラーメイド治療戦略	上田 孝典	内科学(1)	1,000	補 文部科学省 科学研究費 委 補助金
新興リケッチア感染症・日本紅斑熱の重症化機序解明と救命治療法の確立	岩崎 博道	内科学(1)	1,900	補 文部科学省 科学研究費 委 補助金
Bcl-2を高発現する濾胞性リンパ腫におけるオートファジーの分子機構	吉田 明	血液・腫瘍内科	1,900	補 文部科学省 科学研究費 委 補助金
新規グルココルチコイド耐性遺伝子GSTM1の آپトオシス抑制機構の解明	細野 奈穂子	血液・腫瘍内科	1,200	補 文部科学省 科学研究費 委 補助金
慢性甲状腺炎に伴う自己免疫性橋本脳症の臨床免疫学的検討	米田 誠	内科学(2)	1,600	補 文部科学省 科学研究費 委 補助金
神経疾患における電子メールを用いた在宅診療ネットワークの導入と評価に関する研究	中地 亮	神経内科	2,000	補 文部科学省 科学研究費 委 補助金
パーキンソン病患者脳における酸化ストレスのPETイメージング	井川 正道	神経内科	1,500	補 文部科学省 科学研究費 委 補助金
不器用さ・発達性協調運動障害のバイオメカニクス・ニューロイメージング研究	中井 昭夫	小児科学	800	補 文部科学省 科学研究費 委 補助金
早産低出生体重児の生体環境偏移の長期評価とその対策:「成人病胎児期発症説」の検証	塚原 宏一	小児科	1,400	補 文部科学省 科学研究費 委 補助金
末梢血線維細胞による気道リモデリング機序の解析と臨床応用	大嶋 勇成	小児科	1,300	補 文部科学省 科学研究費 委 補助金
3T高磁場MR撮像装置による非侵襲的血流代謝機能画像の開発および臨床研究	木村 浩彦	放射線医学	400	補 文部科学省 科学研究費 委 補助金
血小板機能を用いた門脈塞栓術後肝再生促進に関する研究	村岡 紀昭	放射線医学	1,200	補 文部科学省 科学研究費 委 補助金
放射線療法における腫瘍内血管系からみた治療効果増強のメカニズム	塩浦 宏樹	放射線科	700	補 文部科学省 科学研究費 委 補助金
エストロゲン受容体イメージングによる子宮腫瘍性疾患の診断に関する研究	辻川 哲也	放射線科	1,400	補 文部科学省 科学研究費 委 補助金
非ステロイド性抗炎症薬の神経保護と神経毒性に関する脳代謝画像研究	村田 哲人	精神医学	1,300	補 文部科学省 科学研究費 委 補助金
バルプロ酸の薬理作用と脳内代謝機能に及ぼす影響に関する研究	小俣 直人	精神医学	1,900	補 文部科学省 科学研究費 委 補助金
広汎性発達障害者の脳形態・脳機能異常と生物学的マーカー異常の関連	小坂 浩隆	神経科精神科	900	補 文部科学省 科学研究費 委 補助金
新規血管新生因子の大腸癌浸潤・転移への関与解明	山口 明夫	消化器外科	1,000	補 文部科学省 科学研究費 委 補助金

小計

18

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
RNA干渉、マイクロビーズアレイを用いた脊柱靭帯骨化症に対する網羅的遺伝子解析	内田 研造	整形外科	1,100	補 文部科学省 委 科学研究費 補助金
神経栄養因子遺伝子導入による損傷後脊髄神経グリア系細胞の微小環境制御	中嶋 秀明	整形外科	2,100	補 文部科学省 委 科学研究費 補助金
変性椎間板の組織再生における基礎的研究	宮崎 剛	整形外科・脊椎外科	1,300	補 文部科学省 委 科学研究費 補助金
逆行性軸索輸送を利用した細胞膜透過性ペプチドによる難治性疼痛治療薬の開発	廣瀬 宗孝	麻酔・蘇生学	4,000	補 文部科学省 委 科学研究費 補助金
人工冬眠を目的とした細胞膜透過性氷核ペプチドの開発	廣瀬 宗孝	麻酔・蘇生学	1,600	補 文部科学省 委 科学研究費 補助金
ウェーブレットバイコヒーレンス法を用いた視床皮質再帰性回路の過渡的同期特性解明	林 和子	麻酔科蘇生科	1,000	補 文部科学省 委 科学研究費 補助金
メタボリック症候群候補遺伝子の変異・多型は下部尿路症(LUTS)の原因か	横山 修	泌尿器科学	2,200	補 文部科学省 委 科学研究費 補助金
メタボリック症候群の予防はED/LUTSの改善につながるか	横山 修	泌尿器科学	1,700	補 文部科学省 委 科学研究費 補助金
microRNAの発現解析による前立腺癌診断・治療への応用	伊藤 秀明	泌尿器科学	700	補 文部科学省 委 科学研究費 補助金
先天性腎尿路異常発生の新たなメカニズム:分化制御因子Id2欠損マウスの解析	青木 芳隆	泌尿器科学	900	補 文部科学省 委 科学研究費 補助金
PET画像診断法を用いた腎細胞癌に対する分子標的治療薬の早期治療効果判定の試み	大山 伸幸	泌尿器科	1,500	補 文部科学省 委 科学研究費 補助金
心理ストレス反応に起因する中枢性機能障害におけるメラノルチン系の役割	三輪 吉司	泌尿器科	1,000	補 文部科学省 委 科学研究費 補助金
OABの発生:尿道上皮由来のATP/PG/NGFはkey mediatorか	棚瀬 和弥	泌尿器科	1,800	補 文部科学省 委 科学研究費 補助金
前置胎盤、癒着胎盤に対する標準帝切術の確立:子宮底部横切開法の有用性の検討	小辻 文和	産科婦人科学	1,100	補 文部科学省 委 科学研究費 補助金
エストロゲンレセプター発現PETを用いた子宮肉腫の新たな診断・治療法の開発	吉田 好雄	産科婦人科学	1,500	補 文部科学省 委 科学研究費 補助金
超低出生体重児の消化管成熟に向けた治療戦略:肺サーファクタントを用いた動物実験	西島 浩二	産科婦人科学	1,400	補 文部科学省 委 科学研究費 補助金
エストロゲンレセプター発現PETを用いた婦人科腫瘍のホルモン療法予後予測	澤村 陽子	産科婦人科学	1,400	補 文部科学省 委 科学研究費 補助金
GDF-9の卵胞内標的遺伝子解析に基づく卵子機能マーカーの確立	折坂 誠	産科婦人科	2,100	補 文部科学省 委 科学研究費 補助金
PET検査による抗癌剤感受性試験法の開発:腫瘍細胞内P糖蛋白発現の画像化の試み	黒川 哲司	産科婦人科	1,200	補 文部科学省 委 科学研究費 補助金

小計 累計

19 37

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
水晶体におけるマイクロRNAの同定と機能解析および白内障関連遺伝子の解明	久保 江理	眼科学	1,200	補 文部科学省 委 科学研究費 補助金
スギ花粉症に対する舌下免疫療法施行患者血清中の網羅的蛋白解析から得た新薬開発	藤枝 重治	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	3,000	補 文部科学省 委 科学研究費 補助金
内分泌攪乱物質のアレルギー性鼻炎への影響	山本 英之	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	800	補 文部科学省 委 科学研究費 補助金
BPM-2と骨髄未分化幹細胞移植法を用いた広範囲顎顔面骨欠損修復への試み	植野 高章	歯科口腔外科学	1,900	補 文部科学省 委 科学研究費 補助金
脂質転送蛋白と脂質応答性転写因子の腎線維化抑制作用の解析と新規治療薬の探索	木村 秀樹	腎臓病態内科学	1,500	補 文部科学省 委 科学研究費 補助金
糖尿病モデルマウスにおける低酸素環境とポドサイト障害	高橋 直生	検査部	1,600	補 文部科学省 委 科学研究費 補助金
アレンドロネートが関節軟骨及び椎間板細胞の代謝活性に及ぼす影響	小林 茂	リハビリテーション部	1,200	補 文部科学省 委 科学研究費 補助金
新しい頸髄慢性圧迫モデルを用いた脊髄の可塑性の検討	久保田 雅史	リハビリテーション部	2,600	補 文部科学省 委 科学研究費 補助金
強オピオイドの血中濃度モニタリングによる処方設計支援体制の構築	谷 大輔	薬剤部	590	補 文部科学省 委 科学研究費 補助金
カウンセリング事業の充実	上田 孝典	内科学(1)	700	補 (財) 委 日本エイズ 予防財団
小児における二重エネルギーX線吸収測定法を用いた骨塩定量の論文報告の総括	塚原 宏一	小児科	250	補 (財) 委 日本腎臓財団
透析アミロイド骨症発症における血漿リゾリン脂質濃度の臨床的意義-炎症性サイトカインとの関連性を含めて-	高橋 直生	検査部	800	補 (財) 委 日本腎臓財団
網羅的解析による腎疾患特異的発現遺伝子の抽出 -アンジオテンシンII消去系遺伝子と高血圧の関連-	此下 忠志	内科学(3)	500	補 (財) 委 地域医学研究基金
新規プリンヌクレオシドアナログ、アラビノフラノシルグアニンの腫瘍細胞内薬理と耐性機序に基づく至適投与法の確立	山内 高広	第一内科	200	補 (財) 委 痛風財団
白血病治療前抗がん剤感受性試験としての、薬剤誘導DNA切断による患者癌細胞リン酸化ヒストンγ-H2AX形成定量の有用性に関する研究	高木 和貴	血液・腫瘍内科	300	補 (財) 委 痛風財団
糖尿病性腎症における組織発現の特性調査に関する研究 糖尿病合併症に対する薬物療法の個別化に関する臨床評価研究	此下 忠志	内科学(3)	3,200	補 (独) 医薬基盤 委 研究所
治療切除結腸癌(StageⅢ)を対象としたフツ化ピリミジン系薬剤を用いた術後補助化学療法の個別化治療に関するコホート研究	山口 明夫	消化器外科	74	補 (財) 先端医療 委 振興財団
熱滅菌型空気清浄化装置の除菌効率改善に向けた実証研究	岩崎 博道	内科学(1)	2,000	補 (独) 科学技術 委 振興機構JSTイ ノベーション滋 賀

小計 累計

18 55

研 究 課 題 名	研究者氏名	所 属 部 門	金 額	補助元又は委託元	
Net-SMBGシステムの評価研究	宮 森 勇	内科学(3)	4,722	補 ⑤ (財)ふくい産 業支援センター	小計 2
実地臨床におけるエベロリムス溶出性ステント(XIENCE VIM)とシロリムス溶出性ステント(CYPHER SELECTIM+ステント)の有効性及び安全性についての多施設前向き無作為化オープンラベル比較試験【Randomized Evaluation of Sirolimus-eluting versus Everolimus-eluting stent Trial:RESET	李 鐘 大	循環器内科	110	補 ⑤ (財)生産開発 科学研究所	計 57

- (注)1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑 誌 名	巻	号	頁	発行年月	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
J Clin Exp Hematopathol	49	1	33-37	2009.04	Secondary malignant fibrous histiocytoma following refractory langerhans cell histiocytosis	山内 高弘	血液・腫瘍内科
Biochem. Pharmacol	77	112	1780-1786	2009.06	Intracellular cytarabine triphosphate production correlates to deoxycytidine kinase / cytosolic 5'-nucleotidase II expression ratio in primary acute myeloid leukemia cells	山内 高弘	血液・腫瘍内科
Circ J	73	7	1337	2009.07	N-acetylcysteine reduces the severity of atherosclerosis in apolipoprotein E-deficient mice by reducing superoxide production.	上田 孝典	内科学(1)
J Chemother	21	4	396-402	2009.08	Azithromycin reduces tumor necrosis factor- α production in lipopolysaccharide-stimulated THP-1 monocytic cells by modification of stress response and p38 MAPK pathway	池ヶ谷 諭史	感染症・ 膠原病内科
Int. J. Inf. Dis.	13	6	328-333	2009.12	Correlation between the concentrations of tumor necrosis factor- α and the severity of disease in patients infected with Orientia tsutsugamushi	岩崎 博道	内科学(1)
Oncol Rep	23	2	499-504	2010.02	A new high-performance liquid chromatography method determines low production of 9- β -D-arabinofuranosylguanine triphosphate, an active metabolite of nelarabine, in adult T-cell leukemia cells.	山内 高弘	血液・腫瘍内科
Cancer Sci.	101	3	767-773	2010.03	Glutathione S-transferase M1 inhibits dexamethasone-induced apoptosis in association with the suppression of Bim through dual mechanisms in a lymphoblastic leukemia cell line	岸 慎治	内科学(1)
Mitochondrion	9	2	144-148	2009.04	PET imaging of redox and energy states in stroke-like episodes of MELAS	米田 誠	内科学(2)
Digestion	79	4	235-242	2009.06	The Effects of Helicobacter pylori Eradication on Body Mass Index and Dyspeptic Symptoms	須藤 弘之	消化器内科
J Neurol Sci	285	1-2	265-267	2009.10	Unique clinicopathological features and PrP profiles in the first autopsied case of dura mater graft-associated Creutzfeldt-Jakob disease with codon 219 lysine allele observed in Japanese population	井川 正道	神経内科
精神科治療学	24	11	1405-1410	2009.11	ステロイドパルス療法により認知機能障害が改善した、抗グルタミン酸受容体 ϵ 2抗体陽性の橋本脳症の1例	米田 誠	内科学(2)
J Cardiol	53	2	193-203	2009.04	Levels of serum deoxyribonuclease I activity on admission in patients with acute myocardial infarction can be useful in predicting left ventricular enlargement due to remodeling	荒川 健一郎	内科学(3)
Eur J Nucl Med Mol Img	36	4	632-639	2009.04	Usefulness of 18F-fluorodeoxyglucose positron emission tomography for diagnosing disease activity and monitoring therapeutic responses in patients with pulmonary mycobacteriosis	出村 芳樹	呼吸器内科
Diabetes Care	32	8	1485-1490	2009.06	Genetic Variant of the Renin-Angiotensin System and Diabetes Influences Blood Pressure Response to Angiotensin Receptor Blocker	此下 忠志	内科学(3)
Cancer Epidemiology	33	1	16-23	2009.07	Remnant lipoproteins induced proliferation of human prostate cancer cell, PC-3 but not LNCaP, via low density lipoprotein receptor	高橋 貞夫	内分泌・ 代謝内科
Int J Cardiol	36	1	99-102	2009.07	Down regulation of immuno-detectable cardiac connexin-43 in BALB/c mice	鈴木 仁弥	内科学(3)

小計

16

雑誌名	巻	号	頁	発行年月	題名	発表者氏名	所属部門
Eur J Nucl Med Mol Imaging	36	7	1121-1130	2009.07	Dual-time-point 18F-FDG PET imaging for diagnosis of disease type and disease activity in patients with idiopathic interstitial pneumonia	梅田 幸寛	呼吸器内科
Am J Physiol Endocrinol Metab	297		E1115-E1124	2009.08	Effects of hormone-sensitive lipase-disruption on cardiac energy metabolism in response to fasting and refeeding	鈴木 仁弥	内科学(3)
J Nucl Med	50	12	1948-1953	2009.12	Pathophysiologic correlation between 62Cu-ATSM and 18F-FDG in lung cancer	梅田 幸寛	呼吸器内科
J Allergy Clin Immunol	123	4	889-894	2009.04	Antigen-primed splenic CD8+ T cells impede the development of oral antigen-induced allergic diarrhea	大嶋 勇成	小児科
小児科臨床	62	5	925-930	2009.05	早産児の慢性肺疾患における酸化ストレスの病態学的意義についての検討: CO-HbとMet-Hbを指標として	徳力 周子	小児科学
Mol Genet Metab	97	1	21-26	2009.05	Sustaining hypercitrullinemia, hypercholesterolemia and augmented oxidative stress in Japanese children with aspartate/glutamate carrier isoform 2-citrin-deficiency even during the silent period	塚原 宏一	小児科
日本マス・スクリーニング学会誌	19	1	29-32	2009.06	タンデムマス新生児スクリーニングの尿素サイクル異常症に対する有用性—OTC欠損症を中心として—	重松 陽介	小児科
Clin Chim Acta	406	1-2	52-56	2009.08	Lipoprotein profiles in children with two common cholesteryl ester transfer protein gene mutations, D442G and I14A, during the first year of life	塚原 宏一	小児科
日本小児科学会雑誌	113	11	1705-1710	2009.11	短鎖3-ヒドロキシアシル-CoA脱水素酵素欠損症と遺伝子診断した1例	重松 陽介	小児科
Int J Hematol.	91	2	252-257	2010.01	Characterization of chronic idiopathic thrombocytopenic purpura in Japanese children: a retrospective multi-center study.	谷澤 昭彦	小児科学
Pediatr Blood Cancer	54	1	71-78	2010.01	Outcome of childhood acute lymphoblastic leukemia with induction failure treated by the Japan Association of Childhood Leukemia study (JACLS) ALL F-protocol.	谷澤 昭彦	小児科学
Metabolism	59	1	107-113	2010.01	Altered metabolisms of mediators controlling vascular function and enhanced oxidative stress in asymptomatic children with congenital portosystemic venous shunt	塚原 宏一	小児科
Biol Psychiatry	65	11	992-994	2009.06	Relationship between plasma leptin level and brain structure in elderly: a voxel-based morphometric study	小坂 浩隆	神経科精神科
臨床脳波	51	8	483-489	2009.08	青年期広汎性発達障害者の脳灰白質減少—VBM研究—	小坂 浩隆	神経科精神科
Epilepsy & Seizure	2	1	28-33	2009.10	A patient with partial seizures manifested as panic attacks and auditory hallucination	小坂 浩隆	神経科精神科
Carcinogenesis	30	9	1645-1650	2009.07	Dual role for id2 in chemical carcinogen-induced skin tumorigenesis	徳力 篤	皮膚科学
Ann Nucl Med	23	8	717-723	2009.10	Vasodilatory effect of adenosine triphosphate does not change cerebral blood flow - A PET study with 15O-water	土田 龍郎	放射線科
J Nucl Med	50	10	1598-1604	2009.10	Functional images reflect aggressiveness of endometrial carcinoma: Estrogen receptor expression combined with FDG-PET	辻川 哲也	放射線科

小計 累計

18 34

雑誌名	巻	号	頁	発行年月	題名	発表者氏名	所属部門
Int J Mol Med	25	1	81-87	2010.01	Inhibition of NF- κ B by combination therapy with parthenolide and hyperthermia and kinetics of apoptosis induction and cell cycle arrest in human lung adenocarcinoma cells	塩浦 宏樹	放射線科
Brain Dev	32	2	143-149	2010.02	Pathophysiologic evaluation of MELAS strokes by serially quantified MRS and CASL perfusion images	辻川 哲也	放射線科
International Journal of Clinical Oncology	14	2	120-124	2009.04	Chemo-hyperthermic peritoneal perfusion(CHPP)for appendiceal pseudomyxoma peritonei	片山 寛次	外科学(1)
International Journal of Clinical Oncology	14	5	460-464	2009.10	Biliopancreatic fistula and abscess formation in the bursa omentalis associated with intraductal papillary mucinous cancer of the pancreas	永野 秀樹	外科学(1)
Oncology Research	17	11-12	593-599	2009.11	Cloning of a Novel Splicing Variant of RIN1 and its Expression in Gastric and Colon Cancer	藤岡 雅子	消化器外科
J. Pharmacol. Sci.	110	3	389-396	2009.07	Evaluation of beta1L-adrenoceptors in rabbit heart by tissue segment binding assay	池田 岳史	外科学(2)
Clin Exp Rheumatol	27	3	430-438	2009.05	Calcium pyrophosphate dehydrate crystal deposition in the ligamentum flavum of the cervical spine: histopathological and immunohistochemical findings	彌山 峰史	整形外科・ 脊椎外科
Spine	34	11	1185-1191	2009.05	High-resolution magnetic resonance imaging and 18FDG-PET findings of the cervical spinal cord before and after decompressive surgery in patients with compressive myelopathy	内田 研造	整形外科
J Neuroimaging	19	3	274-276	2009.07	Neurological improvement associated with resolution of irradiation-induced myelopathy: Serial magnetic resonance imaging and positron emission tomography findings	内田 研造	整形外科
J Orthop Sci	14	5	471-483	2009.09	Direct detection of pathogens in osteoarticular infections by polymerase chain reaction amplification and microarray hybridization	内田 研造	整形外科
J Neurosurg: Spine	11	3	330-337	2009.09	Anterior and posterior decompressive surgery for progressive amyotrophy associated with cervical spondylosis: a retrospective study of 51 patients	内田 研造	整形外科
Minim Invasive Neurosurg	52	5-6	271-274	2009.10	Microsurgical intraneural extracapsular resection of neurinoma around the cervical neuroforamen: a technical note	内田 研造	整形外科
J Neurosurg Spine	11	5	521-528	2009.11	Cervical spondylotic myelopathy associated with kyphosis or sagittal sigmoid alignment: outcome after anterior or posterior decompression	内田 研造	整形外科
J Nucl Med	50	11	1808-1814	2009.11	Effects of alendronate on bone metabolism in glucocorticoid-induced osteoporosis measured by 18F-fluoride PET: A prospective study	内田 研造	整形外科
Spine	34	26	2848-2857	2009.12	Tumor necrosis factor-alpha and its receptors contribute to apoptosis of oligodendrocytes in the spinal cord of spinal hyperostotic mouse (twy/twy) sustaining chronic mechanical compression	内田 研造	整形外科
Tissue Eng Part A	15	12	3835-3846	2009.12	A phenotypic comparison of proteoglycan production of intervertebral disc cells isolated from rats, rabbits, and bovine tails; which animal model is most suitable to study tissue engineering and biological repair of human disc disorders?	宮崎 剛	整形外科・ 脊椎外科

小計 累計

16 50

雑誌名	巻	号	頁	発行年月	題名	発表者氏名	所属部門
Arch Orthop Trauma Su	130	1	111-118	2010.01	Epidural abscess associated with pyogenic spondylodiscitis of the lumbar spine; evaluation of a new MRI staging classification and imaging findings as indicators of surgical management: a retrospective study of 37 patients	内田 研造	整形外科
Spine	35	5	497-504	2010.03	Targeted retrograde gene delivery of brain-derived neurotrophic factor suppresses apoptosis of neurons and oligodendroglia after spinal cord injury in rats	中嶋 秀明	整形外科
Neuropathology	29	3	299-302	2009.06	Malignant transformation of supratentorial clear cell ependymoma.	久保田 紀彦	脳脊髄神経外科学
神経内科	71	4	430-432	2009.08	Marfan症候群に伴う頸部の血管異常	有島 英孝	脳脊髄神経外科学
神経内科	71	5	537-539	2009.11	舌咽神経痛様の症状を呈した肺癌の環椎転移-咽頭を含めたMRIの必要性	有島 英孝	脳脊髄神経外科学
World Neurosurgery	73	2	100-107	2010.02	Early regrowth of juvenile cerebral arteriovenous malformations: report of 3 cases and immunohistochemical analysis.	菊田 健一郎	脳脊髄神経外科学
J Pept Sci	15	5	327-336	2009.05	Synthetic pentapeptides inhibiting autophosphorylation of insulin receptor in a non-ATP-competitive mechanism	廣瀬 宗孝	麻酔・蘇生学
J Hosp Infect	74	2	129-136	2010.02	Effect of anaesthesia maintained with sevoflurane and propofol on surgical site infection after elective open gastrointestinal surgery	関 久美子	麻酔科蘇生科
J Ovarian Res	2	1	7	2009.06	Positron emission tomography in ovarian cancer: 18F-deoxy-glucose and 16alpha-18F-fluoro-17beta-estradiol PET.	吉田 好雄	産科婦人科学
Endocrinology	150	6	2740-2748	2009.06	Growth differentiation factor 9 promotes rat preantral follicle growth by up-regulating follicular androgen biosynthesis.	折坂 誠	産科婦人科
J Ovarian Res	9	2(1)	9	2009.07	Oocyte-granulosa-theca cell interactions during preantral follicular development.	折坂 誠	産科婦人科
J Comput Assist tomogr	33	6	877-881	2009.11	Assessment of fluorodeoxyglucose uptake by leiomyomas in relation to histopathologic subtype and the menstrual state	吉田 好雄	産科婦人科学
J Ovarian Res	16	2(1)	17	2009.11	Luteinizing hormone-induced Akt phosphorylation and androgen production are modulated by MAP Kinase in bovine theca cells.	折坂 誠	産科婦人科
Endocrinology	150	12	5566-5574	2009.12	Growth differentiation factor-9 mediates follicle-stimulating hormone-thyroid hormone interaction in the regulation of rat preantral follicular development.	折坂 誠	産科婦人科
Cancer Chemother Pharmacol	65	3	427-436	2010.02	Protein kinase inhibitors emodin and dichloro-ribofuranosylbenzimidazole modulate the cellular accumulation and cytotoxicity of cisplatin in a schedule-dependent manner.	黒川 哲司	産科婦人科
Mol. Endocrinol.	24	3	485-496	2010.03	Peroxisome proliferator-activated receptor-gamma coactivator-1 alpha regulates progesterone production in ovarian granulosa cells with steroidogenic factor-1 and liver receptor homolog-1	折坂 誠	産科婦人科
臨床泌尿器科	63	7	531-534	2009.06	CT検査で偶然発見された大腿部膀胱ヘルニア	松田 陽介	泌尿器科学

小計 累計

17 67

雑 誌 名	巻 号	頁	発行年月	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門	
LUTS	S1	S98-S100	2009.09	Animal model with detrusor overactivity caused by cerebral infarction as a useful tool for pharmacological therapeutic approaches	横山 修	泌尿器科学	
Int J Urol	16	10	775-790	2009.10	Clinical guideline for male lower urinary tract symptoms.	横山 修	泌尿器科学
泌尿器科外科	22	12	1481-1486	2009.12	抗コリン薬の作用機序と抗コリン薬抵抗性過活動膀胱の病態	秋野 裕信	泌尿器科学
J. Urol.	183	2	812-819	2010.02	Visualization and tissue distribution of the alpha-1L adrenoceptor in prostate by a fluorescence-labeled ligand, Alexa-488-silodosin.	秋野 裕信	泌尿器科学
J Urol	183	2	786-792	2010.02	Improvement in Neurogenic Detrusor Overactivity by Peripheral C Fiber's Suppression With Cyclooxygenase Inhibitors	田中 一平	泌尿器科
J Urol	184	1	386-391	2010.03	Melatonin increases bladder capacity via GABAergic system and decreases urine volume in rats.	松田 陽介	泌尿器科学
Life Sci	84	23,24	857-864	2009.06	TAT-mediated peroxiredoxin 5 and 6 protein transduction protects against high-glucose-induced cytotoxicity in retinal pericytes	久保 江理	眼科学
Ophthalmology	116	6	1151-1157	2009.06	Analysis of the Effect of Intravitreal Bevacizumab Injection on Diabetic Macular Edema after Cataract Surgery	高村 佳弘	眼科
J Biol Chem	284	34	22758-22772	2009.08	Loss of NF-kappaB control and repression of PRDX6 gene transcription by reactive oxygen species-driven SMAD3-mediated TGFbeta signaling.	久保 江理	眼科学
Br J Ophthalmol	93	8	1081-1084	2009.08	Age-related cataracts and Prdx 6: Correlation between severity of lens opacity age, and the level of Prdx 6 expression.	久保 江理	眼科学
Free Radic Res	43	9	783-795	2009.09	PRDX6 attenuates oxidative stress- and TGFbeta-induced abnormalities of human trabecular meshwork cells.	久保 江理	眼科学
Diabetes Res Clin Pract	86	1	16-23	2009.10	Aldose reductase inhibitor counteracts the attenuated adhesion of human corneal epithelial cells induced by high glucose through modulation of MMP-10 expression	友松 威	眼科学
Japanese Journal of Ophthalmology	53	5	561-563	2009.10	Macroaneurysm on the Bilateral Optic Disc Associated with Acquired Vascular Loop	久保 江理	眼科学
Am J Physiol Cell Physiol	298	2	C342-C354	2010.02	Protein expression profiling of lens epithelial cells from Prdx6-depleted mice and their vulnerability to UV radiation exposure.	久保 江理	眼科学
J Allergy Clin Immunol	124	4	779-785	2009.04	Associations of functional NLRP3 polymorphisms with susceptibility to food-induced anaphylaxis and aspirin-induced asthma	坂下 雅文	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Acta Cytol	53	4	427-430	2009.07	Benign cystic teratoma of the parotid gland: a case report	藤枝 重治	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Oncogene.	28	34	3058-3068	2009.08	Functional RET G691S polymorphism in cutaneous malignant melanoma.	成田 憲彦	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
耳鼻咽喉科展望	52	4	255-262	2009.08	スギ抗原ディスク誘発性鼻炎症状に及ぼすロイコトリエン受容体拮抗薬の治療効果	大澤 陽子	耳鼻咽喉科・頭頸部外科

小計 累計

18 85

雑誌名	巻	号	頁	発行年月	題名	発表者氏名	所属部門
Oral Oncol.	45	11	968-973	2009.11	Lipopolysaccharides increase the amount of CXCR4, and modulate the morphology and invasive activity of oral cancer cells in a CXCL12-dependent manner	高林 哲司	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
Am J Respir Crit Care Med.	180	11	1048-1055	2009.11	A functional polymorphism in IL-18 is associated with severity of bronchial asthma.	坂下 雅文	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
J. Biol. Chem.	284	49	33719-33728	2009.12	Tyrosine phosphorylation of 3BP2 regulates B cell receptor-mediated activation of NFAT	扇 和弘	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
Nucl Med Commun	31	2	141-146	2010.02	Comparison of the transcellular transport of FDG and D-glucose by the kidney epithelial cell line, LLC-PK1.	呉 明美	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
J Craniomaxillofac Surg	37	8	448-453	2009.12	Primary intraosseous squamous cell carcinomas: five new clinicopathologic case studies	植野 高章	歯科口腔外科学
日本放射線技術学会雑誌	66	1	42-48	2010.01	18F-FDGを用いた脳PET検査の健常者データベースにおけるTransmission撮像および減弱補正法の影響	杉本 勝也	放射線部
Spine	34	7	655-662	2009.04	Ultrastructural analysis on lumbar disc herniation using surgical specimens: Role of neovascularization and macrophages in hernias	小林 茂	リハビリテーション部
Spine	34	10	990-997	2009.05	Vasomotion of intradiscal microvessels in rat	小林 茂	リハビリテーション部
J Neurotraum	26	7	1167-1175	2009.07	Changes in blood flow, oxygen tension, action potentials, and vascular permeability induced by arterial ischemia or venous congestion on the lumbar dorsal root ganglia in dogs	小林 茂	リハビリテーション部
J Orthop Res	27	9	1252-1257	2009.09	Blood flow analysis of compressed nerve root after intravenous injection of lipo-prostaglandin E1	小林 茂	リハビリテーション部
Spine	34	26	E945-E951	2009.12	Lidocaine cytotoxicity to the zygapophysial joints in rabbits: changes in cell viability and proteoglycan metabolism in vitro	竹野 建一	リハビリテーション部
J Neurosurg-Spine	12	2	197-202	2010.02	Microvascular system of the lumbar dorsal root ganglia in rats. Part I: a 3D analysis with scanning electron microscopy of vascular corrosion casts	小林 茂	リハビリテーション部
Nephrol Dial Transplant.	24	6	1759-1765	2009.06	Dexamethasone enhances basal and TNF-[alpha]-stimulated production of PAI-1 via the glucocorticoid receptor regardless of 11[beta]-hydroxysteroid dehydrogenase 2 status in human proximal renal tubular cells	木村 秀樹	腎臓病態内科学
Clin Nephrol	72	3	211-215	2009.09	Acute on chronic subdural hematoma as a rare complication in a microscopic polyangiitis patient receiving antithrombotic treatment	高橋 直生	検査部
Nucleic Acids Research	38	3	832-845	2010.01	SIRT1 deacetylates APE1 and regulates cellular base excision repair.	糟野 健司	検査部
Diagn Cytopathol	38	7	509-513	2009.11	Imprint cytologic features of chromophobe renal cell carcinoma morphologically resembling renal oncocytoma: Is this an oncocytic variant of chromophobe renal cell carcinoma?	今村 好章	病理部
Biological & Pharmaceutical Bulletin	32	8	1486-1490	2009.08	A simulation study to evaluate limited sampling strategies to estimate area under the curve of drug concentration versus time following repetitive oral dosing: limited sampling model versus naive trapezoidal method.	萱野 勇一郎	薬剤部

小計 累計

17 102

雑誌名	巻	号	頁	発行年月	題名	発表者氏名	所属部門	
医療薬学	35	9	622-628	2009.09	5-フルオロウラシルの充填方法が携帯型ポンプ内薬液濃度の均一性に与える影響	渡辺 享平	薬剤部	小計
Biopharmaceutics & Drug Disposition	30	8	448-456	2009.11	Temperature-dependent specific transport of levofloxacin in human intestinal epithelial Is180 cells.	萱野 勇一郎	薬剤部	2
								計
								104

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること。(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 山口 明 夫		
管理担当者氏名	総務管理課長 辻谷 重宏 感染制御部長 岩崎 博道 薬剤部長 政田 幹夫	経営企画課長 國友 陵一 医療情報部長 藤枝 重治 放射線部長 木村 浩彦	医療サービス課長 前島 耕志 医療安全管理部長 井隼 彰夫 ME機器管理部長 山崎 幸直

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録		病院部医療サービス課 (病歴室), 薬剤部, 放射線部, 医療情報部	外来診療録は, 1患者1ファイル, 入院診療録は, 1患者1入退院1 ファイルで病歴室において中央管理 している。電子診療録として, 1患 者1ファイルを医療情報部において 管理している。
病院日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書			
各科診療日誌		各診療科	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務部人事労務課	
	高度の医療の実績	病院部経営企画課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	病院部総務管理課	
	高度の医療の研修の実績	病院部総務管理課	
	閲覧実績	病院部総務管理課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	病院部医療サービス課	
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	病院部医療サービス課及び薬剤部	
第一規則第一條に掲げる十一項第一の確保の状況及び第九條の二十三第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理部	

(様式第12)

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
		医薬品の使用に係る安全管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	ME機器管理部
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME機器管理部
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME機器管理部
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME機器管理部

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び
紹介患者に対する医療提供の実績

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 山口 明夫
閲覧担当者氏名	総務管理課長 辻谷 重宏
閲覧の求めに応じる場所	管理棟会議室

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○ 紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	58.7 %	算定期間	平成21年4月1日 ~ 平成22年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	7,066人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	6,863人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	1,622人	
	D: 初診の患者の数	19,650人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項各号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
<p>指針の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 医療に係る安全管理の基本的考え方 (2) 医療に係る安全管理の体制 (3) 職員研修に関する基本方針 (4) 医療に係る安全確保の改善方策に関する基本方針 (5) 医療上の事故発生時の対応に関する基本方針 (6) 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針(患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針を含む。) (7) 相談への対応に関する基本方針 (8) その他医療安全の推進のために必要な基本方針 	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 医療安全管理の指針に関すること。 (2) 医療安全管理の対策及び改善に関すること。 (3) 医療安全管理に係る指導及び助言に関すること。 (4) その他医療安全管理の重要事項に関すること。 	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 14 回
<p>研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 看護師を対象に、平成21年4月27日、30日及び5月13日に院内講師による「注射のオカレンス予防のために」の研修を行った。 (2) 全職員を対象に、平成21年5月21日に外部講師による「製薬企業における安全性情報の取り扱い」の研修を行った。 (3) 医療従事者を対象に、平成21年6月16日に院内講師による「オカレンスの警鐘事例紹介、注射・内服のオカレンスに繋がりにくいオーダーの方法と指示の受け方、MR検査のオカレンスを生かした同意書の変更」の研修を行った。 (4) 全職員を対象に、平成21年7月22日に外部講師による「抗がん剤イレッサ・副作用被害の概説」についての研修を行った。 (5) 診療支援部員を対象に、平成21年8月20日に院内講師による「現場の気づきと安全文化への取り組み」及び「放射線部部門医療安全への取り組み」についての研修を行った。 (6) 全職員を対象に、平成21年9月12日に外部講師による「医療事故発生時の対応一事故発生時から公表、医療事故調査まで一」、「医療安全におけるコミュニケーションの重要性」及び「病院における医療安全と感染対策」についての研修を行った。 (7) 医療従事者を対象に、平成21年9月26日に外部講師による「RCA（根本原因分析法）」についての研修を行った。 (8) 医療従事者を対象に、平成21年10月29日に院内講師による「静脈栄養と経腸栄養の安全管理、簡易懸濁法の実際」についての研修を行った。 (9) 全職員を対象に、平成21年11月25日に外部講師による「人口呼吸器および人口呼吸器療法」についての研修を行った。 (10) 全職員を対象に、平成21年12月9日に外部講師による「全員参加での5S活動への取り組み」についての研修を行った。 (11) 医療従事者を対象に、平成21年12月10日に院内講師による「嚥下障害の基礎とリハビリテーション」についての研修を行った。 (12) 全職員を対象に、平成22年2月3日に外部講師及び院内講師による「ヒューマンエラー対策の考え方、セキュリティーと個人情報保護」についての研修を行った。 (13) 全職員を対象に、平成22年2月23日に院内講師による「平成21年度の医療安全、感染制御の取り組み」についての研修を行った。 (14) 医療従事者を対象に、平成22年3月11日に院内講師による「健康被害救済制度に関する講演会」についての研修を行った。 	

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> (1) オカレンスレポートは医療安全管理部に報告され、GRMと部員が日々モニタリングを行い、現場確認を行っている。また、内容により各部署における対策の確認が必要な場合は、医療安全管理部長より文書で提出を依頼し、医療安全管理部で内容を確認している。 (2) 医療事故防止強化月間を定め、重要事項を決めて医療事故防止に取り組んでいる。 (3) 医療安全管理部員が毎月2回実施部署を決め、院内パトロールを実施している。 (4) 医療安全推進月間時に部署間相互チェックを実施している。 	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (1 名) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (1 名) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員： 専任(3)名 兼任(17)名 ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> (1) 医療安全管理委員会への情報提供及び改善等の提案に関すること。 (2) オカレンスの収集、調査、分析及び防止策に関すること。 (3) オカレンスレポートで報告された医療上の事故について、影響レベルの判定に関すること。 (4) 医療上の事故防止に係る提言及び指導に関すること。 (5) 医療安全管理に関する教育、研修及び啓発に関すること。 (6) 事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確、かつ、十分になされていることの確認を行うとともに、必要な指導を行うこと。 (7) 患者や家族への説明など事故発生時の対応状況について確認を行うとともに、必要な指導を行うこと。 (8) 各部門のリスクマネージャーとの連絡調整及びリスクマネージャー会議の運営に関すること。 (9) その他医療の安全管理に関すること。 	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じられる体制の確保状況	有 ・ 無

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	④ ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> (1) 院内感染対策に関する基本的考え方 (2) 院内感染対策に関する管理体制 (3) 職員研修に関する基本方針 (4) 感染症発生状況の報告に関する基本方針 (5) 院内感染発生時の対応に関する基本方針 (6) 指針の閲覧に関する基本方針 (7) その他院内感染対策の推進のために必要な基本方針 	
② 院内感染のための委員会の開催状況	年 12 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> (1) 院内感染対策指針に関すること。 (2) 感染予防対策の確立に関すること。 (3) 感染予防の実施、監視及び指導に関すること。 (4) 感染源の調査に関すること。 (5) 感染予防に係る諸調査及び情報の収集に関すること。 (6) その他感染対策についての重要事項に関すること。 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 7 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> (1) 全職員を対象に、平成21年5月1日に院内講師による「福井大学病院における新型インフルエンザへの対応」及び「インフルエンザ感染対策」の研修を行った。 (2) 全職員を対象に、平成21年8月7日に外部講師による「予防接種に関する最新の話題—新しいワクチンを中心に—」の研修を行った。 (3) 全職員を対象に、平成21年9月8日に院内講師による「新型インフルエンザの対応と感染対策」の研修を行った。 (4) 全職員を対象に、平成21年10月2日に院内講師による「H I V 診療と看護の現状」の研修を行った。 (5) 診療支援部員を対象に、平成21年12月2日に院内講師による「医療ガスの安全な使用方法、院内の感染対策、安全な車椅子からの移動介助」の研修を行った。 (6) 医療従事者を対象に、平成22年1月22日に院内講師による「薬剤耐性菌」の研修を行った。 (7) 全職員を対象に、平成22年2月23日に院内講師による「平成21年度の医療安全、感染制御の取り組み」の研修を行った。 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (④ ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> (1) 感染症発生状況は感染制御部に報告され、感染管理看護師長と部員が日々モニタリングを行い、現場確認を行っている。また、内容により各部署における対策の確認が必要な場合は、感染制御部長より文書で提出を依頼し、部会で内容を確認している。 (2) 感染制御部員が定期的実施部署を決め、ラウンドを実施している。 (3) 各部署のリンクナースはICNと連携し、各看護単位の感染対策上の問題点を抽出し、改善策を実践している。 	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>○処方、注射オーダー時の注意すべきポイント</p> <p>○副作用被害救済制度について</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <p>○週1回、医療安全管理部との合同ミーティングと安全パトロールによる医薬品の安全使用の確認</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>○処方動向調査を行い、分析・評価した。</p> <p>○オカレンス事例の分析を行い、是正処置を依頼した。</p>	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有 ・ 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回 (程度)
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>①新規購入の医療機器に対して、納品時に研修を行っている。</p> <p>②人工呼吸器や保育器等の高度な医療機器に対して、不定期に研修会を行っている。</p> <p>③新規採用職員を対象とした医療機器の研修を行っている。</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 計画の作成 (有) ・ 無)</p> <p>・ 保守点検の主な内容：</p> <p>重要医療機器に対して、年間保守計画を立て定期的に行っている。 また、他にも定期間隔で点検を実施している医療機器もある。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 ((有) ・ 無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>(財) 日本医療機能評価機構および(独) 医薬品医療機器総合機構より情報を収集し、必要に応じて医療安全管理部と医療機器安全管理委員会にて活用および改善対策を取っている。</p>	